



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス 上場取引所 東
コード番号 6871 URL <https://www.mjc.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 長谷川 正義
問合せ先責任者 （役職名） 取締役上席執行役員 （氏名） 片山 ゆき TEL 0422-21-2665
管理本部副本部長
半期報告書提出予定日 2025年8月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	33,120	26.6	7,569	31.3	7,394	27.4	4,774	29.6
2024年12月期中間期	26,171	54.1	5,764	229.3	5,806	270.0	3,685	222.4

（注）包括利益 2025年12月期中間期 4,363百万円（△13.5%） 2024年12月期中間期 5,042百万円（172.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	123.44	—
2024年12月期中間期	95.53	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	81,634	52,002	63.7
2024年12月期	79,990	49,646	62.1

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 52,002百万円 2024年12月期 49,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	0.00	0.00	0.00	70.00	70.00
2025年12月期	0.00	0.00			
2025年12月期（予想）			0.00	72.00	72.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2025年8月12日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期（累計）	50,000	28.3	11,100	28.4	10,800	20.0	6,800	18.3	175.79
通期	68,900	23.8	13,800	9.8	13,300	8.6	9,200	4.4	237.83

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2025年8月12日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期中間期	40,025,316株	2024年12月期	40,025,316株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年12月期中間期	1,261,088株	2024年12月期	1,434,952株
--------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年12月期中間期	38,683,325株	2024年12月期中間期	38,582,388株
--------------	-------------	--------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2025年8月12日に当社ホームページへ掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の関税政策の影響により、インフレ圧力が懸念されました。また、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化など、地政学リスクの高まりを受け、原油、エネルギー価格が不安定な情勢となりました。主要国における金融政策は、欧州では緩和継続、米国は利下げに慎重な姿勢であり、政策金利の動向が企業活動に影響を与えています。

半導体市場においては、世界的にA I投資の流れが加速するなか、関連製品の需要が引き続き旺盛となり市場の成長を牽引しました。特に、A Iサーバー向け半導体需要の高い成長が継続し、GPU(画像処理半導体)やHBM(高性能メモリ)は供給に逼迫感も出ています。一方、パソコンやスマートフォン向け半導体は、在庫調整が進んだものの、まだ回復途上という状況です。車載及び産業機器向けの半導体市況は、他分野に比べ米国の関税政策の影響を受けやすく、軟調に推移しました。FPD市場においても、関税政策の影響により最終製品の需要が不透明となりました。

このような事業環境において、当社グループの当中間連結会計期間は、HBM向けプローブカードの高い需要が継続し、加えて汎用やモバイルDRAM向けプローブカードも底堅く推移しました。この結果、メモリ向けプローブカードが引き続き好調な結果となりました。ノンメモリ分野では、新製品の拡販に力を入れ、新規顧客の獲得に努めました。他方、将来に向けた技術開発などを推進したことで、研究開発費を中心に販売費及び一般管理費が前年同期比で増加しました。

こうした結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高33,120百万円(前年同期比26.6%増)、営業利益7,569百万円(前年同期比31.3%増)、経常利益7,394百万円(前年同期比27.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益4,774百万円(前年同期比29.6%増)となりました。

<セグメントの状況>

(各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。)

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① プローブカード事業

メモリ向けプローブカードが引き続き好調に推移したことで、前年同期比で増収となりました。また、製品ミックスの変化により、利益が大きく増加いたしました。

この結果、売上高は32,199百万円(前年同期比28.7%増)、セグメント利益は9,423百万円(前年同期比29.9%増)となりました。

② TE事業

半導体テストソケットが底堅く推移したものの、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、売上高は921百万円(前年同期比20.1%減)、セグメント損失は268百万円(前年同期は147百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,643百万円増加し、81,634百万円となりました。現金及び預金が7,490百万円減少しましたが、機械装置及び運搬具(純額)が4,517百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が2,178百万円、棚卸資産が1,971百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ712百万円減少し、29,631百万円となりました。短期借入金と長期借入金を合わせた借入金が5,430百万円、製品保証引当金が848百万円それぞれ増加しましたが、未払金が6,003百万円、未払法人税等が820百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,356百万円増加し、52,002百万円となりました。これは主に利益剰余金が2,073百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ7,156百万円減少し、15,299百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は4,465百万円(前年同期比42.5%減)となりました。法人税等の支払額3,174百万円等により減少しましたが、税金等調整前中間純利益7,384百万円等により増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用された資金は14,764百万円(前年同期は3,391百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14,027百万円、投資有価証券の取得による支出666百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は3,351百万円(前年同期は1,739百万円の支出)となりました。配当金の支払額2,701百万円等により減少しましたが、短期借入金と長期借入金の純借入額5,430百万円、自己株式の売却による収入623百万円により増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する半導体、FPD市場の直近の市場環境及び動向等を踏まえ、2025年5月13日に公表した2025年12月期第3四半期累計連結業績予想を見直すとともに、2025年12月期通期連結業績予想を開示いたしました。詳細につきましては、本日(2025年8月12日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,949	16,458
受取手形、売掛金及び契約資産	8,670	10,848
製品	927	1,023
仕掛品	5,934	7,491
原材料及び貯蔵品	2,628	2,947
その他	2,452	1,727
貸倒引当金	△25	△11
流動資産合計	44,537	40,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,344	16,144
機械装置及び運搬具(純額)	5,671	10,189
その他(純額)	7,542	8,384
有形固定資産合計	29,558	34,718
無形固定資産	1,070	1,058
投資その他の資産		
投資有価証券	1,886	2,316
退職給付に係る資産	224	275
その他	2,950	2,998
貸倒引当金	△236	△218
投資その他の資産合計	4,824	5,371
固定資産合計	35,452	41,148
資産合計	79,990	81,634
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,700	8,107
短期借入金	736	333
未払金	9,323	3,320
未払法人税等	3,275	2,454
賞与引当金	1,610	1,933
役員賞与引当金	251	—
製品保証引当金	1,350	2,199
その他	3,363	2,746
流動負債合計	27,612	21,094
固定負債		
長期借入金	439	6,272
退職給付に係る負債	2,145	2,176
その他	147	87
固定負債合計	2,731	8,536
負債合計	30,344	29,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	6,091	6,633
利益剰余金	36,585	38,659
自己株式	△1,266	△1,113
株主資本合計	46,429	49,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,141	977
為替換算調整勘定	1,972	1,743
退職給付に係る調整累計額	102	84
その他の包括利益累計額合計	3,216	2,805
純資産合計	49,646	52,002
負債純資産合計	79,990	81,634

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	26,171	33,120
売上原価	13,612	16,719
売上総利益	12,559	16,401
販売費及び一般管理費	6,794	8,832
営業利益	5,764	7,569
営業外収益		
受取利息	33	37
受取配当金	7	12
受取賃貸料	33	35
還付金収入	—	4
その他	24	30
営業外収益合計	99	119
営業外費用		
支払利息	3	13
支払手数料	15	210
為替差損	36	64
その他	1	5
営業外費用合計	57	294
経常利益	5,806	7,394
特別利益		
固定資産売却益	13	0
特別利益合計	13	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	9
特別損失合計	0	9
税金等調整前中間純利益	5,818	7,384
法人税、住民税及び事業税	2,354	2,411
法人税等調整額	△221	198
法人税等合計	2,132	2,610
中間純利益	3,685	4,774
親会社株主に帰属する中間純利益	3,685	4,774

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	3,685	4,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	514	△164
為替換算調整勘定	873	△228
退職給付に係る調整額	△31	△17
その他の包括利益合計	1,357	△411
中間包括利益	5,042	4,363
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,042	4,363

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,818	7,384
減価償却費	1,205	2,270
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△20	25
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△22	△66
賞与引当金の増減額 (△は減少)	335	318
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	295	849
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	27	△32
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△162	△251
受取利息及び受取配当金	△40	△49
支払利息	3	13
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	321	△2,252
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△856	△2,057
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,373	538
その他	△124	911
小計	8,154	7,602
利息及び配当金の受取額	40	49
利息の支払額	△3	△13
法人税等の還付額	1	1
法人税等の支払額	△424	△3,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,767	4,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,469	△1,286
定期預金の払戻による収入	1,477	1,617
有形固定資産の取得による支出	△2,811	△14,027
有形固定資産の売却による収入	6	0
投資有価証券の取得による支出	—	△666
その他の支出	△600	△411
その他の収入	6	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,391	△14,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300	—
短期借入金の返済による支出	△480	△300
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△286	△269
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	623
配当金の支払額	△1,273	△2,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,739	3,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	416	△209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,052	△7,156
現金及び現金同等物の期首残高	16,423	22,455
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,475	15,299

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プローブ カード事業	T E 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,018	1,153	26,171	—	26,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,018	1,153	26,171	—	26,171
セグメント利益又は損失 (△)	7,253	△147	7,106	△1,341	5,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,341百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プローブ カード事業	T E 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,199	921	33,120	—	33,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	32,199	921	33,120	—	33,120
セグメント利益又は損失 (△)	9,423	△268	9,154	△1,584	7,569

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,584百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。